



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 教育・広報部  
2019年8月31日 No.120

## 施策を進める経営側の姿勢と現場実態との乖離が明らかに！

### 「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化に関する申し入れ」の団体交渉

東日本ユニオンは8月29日に2018年度申第24号「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化に関する申し入れ」の団体交渉を開催しました。

「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化」施策が2018年7月1日より実施されて一年が経ちました。現場では「線路設備モニタリング」の導入および施策の定着にむけて組合員、社員が奮闘している中、安全や技術継承などに関する多くの問題が発生しており、団体交渉では「問題や課題の克服なくして施策の目的は達せられない」との問題意識と現場実態を通して経営側と議論を行いました。

### 【施策実施に伴う「安全・技術継承」における成果・課題の議論】

※組＝組合側、経＝経営側

#### ●安全・安定輸送について

組：施策実施前と後を比べると、車両に触れるような支障樹木など乗務員からの設備申告件数が増えている。また、認定線区においては沿線住民からの雑木伐採や除草に関する苦情件数が増えている。

経：増加の認識はない。件数が増えたのは個別箇所であり、全箇所で増えているとの認識はない。

組：安全を考えた場合に「個別箇所だから」「全体的に増えていないから」問題ないとはならない。

経：さまざまな会議の場で話を聞いていく。

#### ●技術継承について

組：現場に出る機会が減る中で保守エリアの弱点箇所を把握し、原因の特定や技術的な判断などの質的向上が課題である。安全レベルを低下させてはいけない。

経：認定線区は4級線区としての割り切ったメンテナンスになる。その場で磨けるスキルもあるが、本社・支社間で月1回の意見交換を行い、個別に話を聞きながら若手の技術継承を行っていく。

組：特に認定線区を担当する若手社員は、技術継承に対する多くの不安がある。施策の目的である「現場感覚と適切なメンテナンス」ができなくなる施策になってはダメだ。仕事に対するモチベーションや技術継承に対する不安は多く持っている。技術継承ができる施策としていかなければいけない。

※2枚目に続く

## 施策を実施したがゆえに

## 安全レベルの低下・技術継承ができなくなるとはダメだ！



## 【線路設備モニタリングにおける議論】

※組＝組合側、経＝経営側

### ●材料モニタリングのデータ遅延について

組：材料モニタリングデータが現場に配信されるが、2ヶ月前のデータが届くケースがある。

経：各支社とは毎月会議を行っているが、支社から報告は上がっていない。「極力、最新データを使うべきだ」という認識である。現場への配信が遅い理由などは「NG 箇所」の数量もあるかと思う。

組：不良箇所があった場合、速やかな処置ができる体制づくりが必要だ。

だからこそ、配信が遅れている理由とその解消を図ることが必要。現場の声を聴き、安全の視点から速やかに対応すべきだ。

経：なるべく早く配信していく必要があると認識している。

### ●材料モニタリングの「NG 判定」解消にむけた対策について

経：「NG 判定の箇所を減らしていく必要がある」とは、組合側と認識は一致している。

「NG 判定」の多くは除草や砕石によるものと認識している。NG が出やすい箇所の傾向を見て、支社・本社で優先順位を決め、問題を共有しながら改善を図っていく。NSG 側のスクリーニングの改善として、8月よりマニュアルを変更する。今よりも原因を絞ることができ、数量も減ると考えている。

組：支社は現場に除草や砕石整理など要請しているというが、現場ではそこまでの予算、要員はない。また、「NG 判定」の中で本当に材料状態が不良のケースがあるが、予算、要員含めた対策が必要である。

経：毎月、会議を行っているが、支社からはあまり声は聞こえてきていない。

組：支社からは声は聞こえてこないというが、現場では問題が現実にある。現場の声が経営側に届いていないとなると「現場→支社→本社」への連携が図れていないのではないかと課題解決のために現場からのボトムアップをすべきである。

### ●材料モニタリングの「NG 判定」を行う際のチェック体制の確立を提言

組：NG 箇所が多く、処理をする担当者の負担が大きい。担当者の負担もあるし、処理する人からは不安との声がある。間違いを防止するためにも複数人で確認をしながら処理を行うようにすべきである。

経：今のところ大きな問題はないという認識であるが、負担になっている「NG 箇所」の減少に向けて取り組みは進めていく。

**働きがいの持てる保線職場を東日本ユニオンとつくりよう！**